



東武商事(株)北関東事業本部

代表取締役

小林 増雄 氏

産業廃棄物の収集運搬・中間処理から、一般廃棄物の収集運搬・処理、廃油の回収及び再生重油の販売、道路側溝などの清掃まで手掛ける。県内の焼却施設「那須総合リサイクルセンター(NRC)」は稼働から10年、乾燥施設「那須環境センター(NKC)」は15年が過ぎた。「民間の排出事業者のみならず、地元自治体の一般廃棄物処理施設が稼働停止の際には処理を請け負うなど、官民問わず依頼を受けています」と語る。昨年は数億円に上る多額の投資に

より、産業廃棄物や放流水の成分分析結果を公的な証明書として発行できる「環境計量証明事業」に参入した。今後は産業廃棄物のリサイクル

業界大手を中心に、同業他社や異なる業種との協業・グループ化が進んでいる。一方で経済的事情などから廃業する中小零細企業も。2024年

「他社との協同が不可欠」としている。また処理困難物の処理や激甚化する災害時に発生する廃棄物の受け入れ

のはもちろん、環境計量証明事業や清掃、排水施設のメンテナンスなど単なる処理業者ではない付加価値を提供。「困りごとはすべてワンストップで解決できることで他社との差別化を図ります」と力を込める。今後は基幹システムの刷新、事務作業の電子化、工場のモノのインターネット(IoT)化を高めることで、業務のDXを推進。児童生徒などを対象にした工場見学や出前講座など、環境教育活動にも力を入れていく。

廃棄物処理に付加価値を

化を排出過程から提案するなど、分析結果を顧客にフィードバックすることにより幅広い業務を請け負う考

問題で産業廃棄物の収集運搬を担うドライバーの確保も喫緊の課題だ。自社単体のみで生き残るのは難しくなっている中、「業種の同業を問わ

れ、工場等での緊急トラブルへの即応など、「産業廃棄物処理業が基幹業務であることは言うまでもありません」。円滑で効率的な処理を実現する



東武商事「那須総合リサイクルセンター」



東武商事株式会社

<https://www.tobu-s.co.jp/>

■北関東事業本部

〒329-2741 那須塩原市北赤田1575-38

☎0287・39・7182